

ゆうゆう通信

平成30年6月11日発行 第26号

発行 飯田市立病院介護老人保健施設
ゆうゆう 広報委員会
〒395-8503 飯田市上郷黒田341
電話 53-6048 FAX 53-6047



「ご挨拶」

ゆうゆう施設長
高松診療所長

金子源吾

平成30年4月27日付けで飯田市立病院介護老人保健施設「ゆうゆう」の施設長および高松診療所長を拝命しました金子源吾です。これまで毎週金曜日に主に「ゆうゆう」の入所での回診業務をしていましたが、このたび常勤で「ゆうゆう」および高松診療所の仕事をさせていただきますことになりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私ごとで恐縮ですが、昭和52年10月から1年間、この地にありました旧上郷町立高松病院に勤務した経験があります。

その後、時代の要請に基づいて多様に変貌を遂げながら、現在の「ゆうゆう」および高松診療所に至っている歴史に感銘を受けています。再び当地で働くことに深い縁を感じるとともに責任の重大さに身が引き締まる思いです。

「ゆうゆう」は平成24年10月より入所ベッド数100床での稼働となりました。以来、施設長をはじめとした施設職員とともに、市立病院からの内科、外科、皮膚科などそれぞれの専門医を加えて充実した体制を作り上げてきました。今後ますます、厳しくなると予想される医療・介護環境の中で施設の安定的経営には関係機関との連携を深めて、多くの皆様に当施設を利用していただくことが肝要です。

それには組織的には市立病院との一体的施設としての対応をさらに強化していく必要があると考えています。また、地域の介護や住民交流の拠点施設としての役割も責任をもって果たせるように努力したいと思っています。

今、2025年問題への対応が重要な課題になっています。および7年後には、日本の3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上という、かつて私たちが経験したことのない高齢化社会を迎えます。それに向けて、国や都道府県の指導により、医療・介護の分野における地域医療構想の策定が進められてきました。

地域医療構想の主要な概念は、「病床機能の分化」「連携」「地域包括ケア」であり、機能分化した医療・介護・福祉施設等が密接に連携協力することによって、地域完結型医療を実践するという考え方のことです。現在、県の医療計画に基づいて病院の病床機能は、高度急性期、急性期、回復期、慢性期に分けられつつあります。飯田市立病院は、高度急性期および急性期医療を担いますが、「ゆうゆう」の役割は急性期の治療が不要な、あるいは終了した、慢性疾患や認知症など様々な障がいのある患者さんに対して、リハビリテーションなどを行うことで症状の安定化を図り、在宅復帰が容易になるようにお手伝いをする事です。そのために今後診療、看護、介護、リハビリテーションおよび事務管理体制の充実により、安全で安心の質の高い介護サービスの提供を目指していきたいと考えています。

地域の皆様方にはこれからも引き続き、温かいご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。



二階お花見

2階Aチーム

今年は急激に暖かい日が続き、きつと桜の開花が早いよね♪と話しながら窓から見える正命寺の桜が色づくのを楽しみにしていました。あつという間に満開になり、早くしないと散り桜になってしまう！とぼかぼか陽気の絶好のチャンスに数回のグループにてお花見に出発しました。目的地の正命寺に向かう足取りは軽く、早く、「もつとゆつくり歩きましょうね」と職員の方が慌てて声掛けする程でした。ウキウキしている姿や笑顔はともかわいらしく、桜を見上げる顔は桜よりも美しく…その場にいた全員が幸せな気持ちになりました。花より団子：花よりお酒：でも、やっぱり桜が良いね、と一人ひとりの想いはそれぞれあるようでした。短時間でしたが楽しく春を楽しむ時間が過ごせました。

2階Bチーム

桜の時期になり、日常の生活の中でも桜の話題がきかれるようになりました。ある日、利用者様から「見に行きたいなあ」との声が聞かれ、正命寺へ出かける事になりました。桜を見て、最高の笑顔が見られました。記念写真を撮り、帰って来てからも「良かったに〜!」「きれいだった!」と話が弾みました。体調の具合で行けなかった利用者様には撮影してきた桜の写真をお見せしてほぼ全員の方がお花見をする事ができました。



環境整備

5月12日(土)に、ゆうゆうの恒例行事

となつている春の環境整備作業を行いました。

この作業は、春と秋の年2回職員がボランティアで施設内外の清掃をはじめ、日頃できない作業を行います。今回は31名(内、子供5名)の参加がありました。

当日は、好天に恵まれさわやかな風が吹き抜ける気持ちの良い天気のなか作業をすることができました。

少人数で汗びっしょりかきながらの駐車場のごみ拾いや草取り、水しぶきを浴びながらの公用車の清掃、職員のお子さん・カエルも一緒になつて緑のカーテンと野菜の土づくりなど、部署の枠を超えて楽しく作業をすることができました。

苗植え作業は後日、利用者さんと一緒に行いました。とまと・きゅうり・なす・ししとうなどの野菜がすくすくと大きくなり始めました。野菜は利用者様と職員が協力して水やりをしたり肥料をやったりして管理していきます。夏の収穫がたのしみです♪



デイ五平餅会

5月23日～25日の3日間、デイケアにて五平餅作りを行いました。

「ご飯を潰して成形し、竹串に刺していきます。真ん中にさすのが難しいなあ」と苦戦したり、「昔作ったことがあるよ」と手際よく作業されていたり。利用者様・ボランティアの方々・職員とみんなで協力し、あつという間にたくさんのお型が出来上がりました。炭火をおこし焼き始めると、デッキからは良い香りが…。火を囲んで焼き上がり待ちます。

くるみだれとゴマ味噌だれをつけて、頂きました。焼きたてを頬張り、自然と笑顔がこぼれます。おかわりをされる利用者様もいらっしやいました。おいしい五平餅に会話も弾み、楽しいひと時となりました。



3A五平餅会

5月14日(月)たんぼぼ、ひまわりユニットで利用者様と一緒に行事食の五平餅作りを行いました。たんぼぼユニットでは女性の利用者様総出で朝からクルミ味噌、ゴマだれ作り「もつと甘く、砂糖を入れんと」などと声が飛び交います。が雰囲気はわきあいいいです。「ほれほれ頑張つて」と周りで声援が聞こえます。ひまわりユニットでは男性の利用者様がごはんをつぶし型からぬきます。たれ作りも女性の利用者様と一緒に初挑戦です。「これじゃだめだ」と言いながらも作っていきます。焼けた五平餅にたれをつけると「たれがおいしい」、「いいにおい」と、おいしいとノンアルコービールを片手に明るい笑顔と弾んだ声に包まれながら楽しい時間を過ごすことができました。また一緒に作って食べましょう。



3B五平餅会

去る五月九日、さくら・すみれユニットでは利用者様と一緒に五平餅作りを行いました。それぞれのユニットに分かれて皆で協力して作りました。ご飯を潰して型で丸く形を作ったり、くるみ・ゴマ・味噌・砂糖を混ぜて絶妙な味付けの味噌だれも作りました。昔、作ったことがある方も何人かいて、当時の思い出話をしながら慣れた手つきで手伝って下さいました。ホットプレートで焼き、たれをたっぷり塗って、竹串には刺さず皿に盛った形での提供でしたが、皆さん「美味しい」と言いながらノンアルコービールを片手に召し上がっていらっしやいました。明るい笑顔と上機嫌な声に包まれた楽しい時間を過ごすことができました。



新任職員紹介



事務
熊崎陽子

4月より管理係でお世話になっております
熊崎陽子です。
利用者さんやご家族、ゆうゆうのスタッフ
のみなさんのお役に立てるように頑張ります。
よろしくお願いたします。



看護師(2階)
佐々木睦子

一月十九日から働きはじめて、四か月が経過しました。子育てのため十年ほどブランクがあり、不安と心配でしたが、スタッフの方々と利用者さんがすごく優しく、今はここで働けることが、とても楽しいです。
家族と離れて生活している利用者さんの気持ちになって介護していきたいと思えます。
皆さんよろしくお願いたします。



理学療法士
(2階)
原 孝行

飯田市立病院より異動となり、4月2日より
診療所と2階のリハビリを担当させて頂いてお
ります。原 孝行と申します。
リハビリを通して利用者様、患者様、一人一人
に寄り添い、少しでも楽しい生活を送る手助け
となれればと思っております。
早く慣れ、お役に立ち、皆様と笑顔で働ける
よう頑張りますのでよろしくお願いたします。



介護士(3B)
新谷志之

4月から3階Bチームでお世話になってい
ます。10年ぶりにまた介護の現場で働かせて
いただくことになり、毎日新鮮な気持ちで、
楽しく働かせていただいています。まだまだ慣
れないことも多くご迷惑をおかけすることも
あるかと思いますが、頑張りますので、よろし
くお願いたします。



薬剤師
大島雅子

こんにちは、4月からゆうゆう担当になりま
した薬剤師の大島です。
3月まで市立病院の6東病棟で心臓や呼吸器
の病気ややけどの患者様のお薬をセットしたり
渡したりしていました。ゆうゆうでは皆さんか
ら明るく声をかけていただきアットホームな感
じで楽しく仕事をさせていただいています。
まだ、慣れないことばかりですが宜しくお願
い致します。

編集後記

新しい施設長として、飯田市立病院名誉院長
の金子医師が就任し、新たな体制で運営を行っ
ていくこととなりました。
福祉施設を取り巻く環境は厳しさを増してき
ておりますが、ご利用者やそのご家族の皆様方
が安心してご利用いただける施設を目指して、
職員一同、更なる研鑽を積んでまいりますので、
ご支援のほど、よろしくお願いたします。
(良)

